

大野城市共働事業提案制度 事業評価及び意見集約表

事業名：中学校部活動の地域連携に向けた検討事業

実行委員会名：中学校部活動検討実行委員会(NPO法人部活ガンバ・教育振興課)

評価項目		評価点	評価	推進委員意見
共働の必要性	市民への効果	8.80 / 25点	E	<ul style="list-style-type: none"> ・直接市民への効果が出ていない。 ・市民への効果が見えなかった。 ・調査等を行ったことは評価できる。 ・共働としての成果が得られていない以上市民への効果はないものとする。 ・市の方針決定に係る検討材料とされたことで、部分的な成果は認められるが、直接的な市民への効果は限定的で十分とは言い難い。
	共働の相乗効果	8.80 / 25点	E	<ul style="list-style-type: none"> ・相乗効果がなかったとは言えない。むしろ、一緒にやったのでスケジュールが早まった可能性もある。 ・アンケートをただでやりましたというお話に聞こえ、共働で取り組んだことが分からない。 ・相乗効果は見られない。 ・各々が方向性をもって進めている印象を受ける。共働での相乗効果は極めて低いと思われる。 ・市としての施策の進め方に方針転換的な部分もあり、致し方ない部分はあるが、行政の内部調整力や、団体側の情報収集や情報発信力が相乗効果として現れるところまで至らなかったと感じる。
	共働事業の実施過程	9.30 / 25点	E	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担というより、共働の姿勢に問題があった。 ・市の方針作成へつながった。負担軽減など受益者が得られる成果となったのはどの部分かわからなかった。 ・共働したように見えない。 ・現状の結果に生かされているのであるならば、役割分担は多少妥当であったのではないかと感じる。 ・役割分担の部分では、行政の内部調整や、団体による情報収集活動はそれぞれ行われていたが、十分に引き出されたとは言い難い。
事業の実現性	目的・目標の達成度	9.90 / 25点	E	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画、スケジュールとはかなり違う。年度途中で終了している。 ・この制度を最大限活用してほしいと思ったが終了ということで残念を感じる。 ・団体は頑張りたいと思えなくなった点が、最大のポイントだと思っている。本当に必要な事業だったかとも思っている。 ・調査結果が市の方針に反映されたと思われる。 ・当初の目的からは大きく変わったが今後に向けて各々が進めているきっかけとはなったのではないかと感じる。 ・実施スケジュール、計画の部分で予定通りにいかなかったところは非常に残念を感じる。
	※事業の発展性 (波及効果)	0.00 / 10点	/	・共働事業で実施した内容自体の発展はないので加点なし。
	※事業の再現性 (スキームの確立)	0.00 / 10点	/	・成果が見える事業の実施できたスキームではないので加点なし。
総括		36.8 / 120点	E	

※項目は、加点項目